

特集

ふれあいの郷再編整備基本計画を策定しました

本村では観光入込客数の増加、村内店舗への誘客、雇用創出、村の魅力発信等、村の活気と魅力づくりを推進し、交流人口の増加を図ることを目的として、ふれあいの郷を観光交流拠点として再編整備するための基本計画を策定しました。

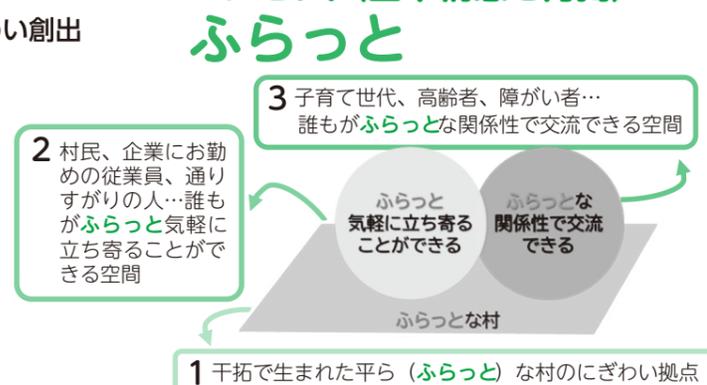
ふれあいの郷再編整備基本計画は、ふれあいの郷再編整備基本構想で検討した本施設の新たなコンセプトや導入する機能等、再編整備に向けた基本的な考えをふまえ、機能・規模の検討、配置計画を検討するとともに、事業範囲や事業条件を整理し、整備に向けて官民連携手法による事業成立性を検証することを目的とします。

基本計画の概要については次のとおりです。

1. 基本方針(基本構想を再掲)

- (1) 温泉を核とした体験・交流によるにぎわい創出
- (2) 福祉サービス水準の維持
- (3) 段階的な機能の拡充

2. コンセプト(基本構想を再掲)



3. 機能・規模の設定

(1) 目指すべき事業効果

本整備事業は、年間30~40万人(1日あたり約1,000人)を集客し、村内での観光・飲食・買い物、農業体験等の拠点となります。

(2) ターゲット

- ・平日：村民、村内勤務の労働者
- ・休日：村民、近隣市町居住のファミリー

4. 新規施設の整備イメージ

導入機能	整備内容	想定面積
温浴施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカー数：600人程度を想定 ・ロビー、ラウンジ、トイレ、脱衣所、洗い場、風呂、露天風呂、サウナ等を設置。 ・岩盤浴は設けない。 ・屋外機械室は別途設置する。 	2,000㎡
飲食・物販	<ul style="list-style-type: none"> ・温浴施設と一体的な飲食および、その一角に物販。500㎡~600㎡程度。 ・飲食物販は同一の会計で対応を想定している。 	550㎡
休憩スペース等	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩、イベント等に利用できるスペース。一角にチャレンジショップ・シェアキッチン(20㎡程度)を設置。 	500㎡
イベントスペース チャレンジショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関ホール(約130㎡)と倉庫等(50㎡)を連携して利用できるように配置する。 	
観光機能	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流協会のオフィス。相談等は休憩、イベントスペースを使用。 ・観光案内やツアー受付等を行うため、分かりやすい位置に設置する。 	80㎡
トイレ等	<ul style="list-style-type: none"> ・1階利用者用のトイレ ・滞在者数300人として男子大3器小3器、女子4器を想定(40~50㎡程度) 	70㎡
授乳室・休養室等	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳室10~20㎡、休養室10~20㎡程度 	
子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場300㎡を配置。うち遊戯エリア150㎡、受付、待合等150㎡を想定。 ・収容人数は50人を想定。 	300㎡
合計		3,500㎡

5. 管理運営の考え方

コンセプトである「ふらっと」にふさわしい再整備を行うためには、主な機能である交流機能(温浴施設、飲食物販等)、産業振興機能(イベントスペース、チャレンジショップ)、観光機能等において、様々な工夫を凝らし、利用者ニーズをくみ取りながら事業展開を実施する必要があります。

また、村の財政状況等を鑑みて安定的に充実したサービスの提供を維持していくため、施設の再整備後の維持管理や将来的な施設の改修費や運営費等のランニングコストを抑え、さらには経営収支の最大化を目標とします。

そのため、民間のノウハウを活用することで、本整備事業において継続的ににぎわいを創出し、温浴施設を含む複合施設としてサービスを提供します。

6. 整備の方向性

(1) 整備の方向性

検討した整備イメージは、関係各主体の意向をふまえ、必要とされる機能を最大限盛り込んだ原案となっています。一方で、近年の物価高騰の影響もあり、この原案をベースに事業を進める場合には、整備費が約45億円程度と高額になることが想定されます。

そこで、建物規模の縮小や既存施設の活用、運営費の縮減と収入の増加など、今後の事業化に先立ち、今一度コスト縮減の検討を行い、中長期的な運営収支も加味した事業内容・事業スキームを検討します。

(2) コスト縮減案の検討

コスト縮減案として、以下のパターンが考えられます。

今後、これらのコスト縮減案をもとに、利用者の需要調査、民間事業者の進出条件確認を行い、中長期的な運営収支を加味した総事業費をふまえて、整備する機能・規模の精査および、運営方法等を含む事業スキームを検討します。

項目	原案 【2階建て新築案】	パターン① 【2階建て面積縮小】	パターン② 【平屋面積縮小】	パターン③ 【既存施設改修】
導入機能	温浴施設(新設)/飲食物販/イベントスペース/チャレンジショップ/観光交流協会/子どもの遊び場/芝生広場	温浴施設(新設)/飲食物販/イベントスペース/チャレンジショップ/観光交流協会/子どもの遊び場*/芝生広場	温浴施設(新設)/飲食物販/イベントスペース/チャレンジショップ/観光交流協会/子どもの遊び場*/芝生広場	温浴施設(既設改修)/飲食物販/イベントスペース/チャレンジショップ/観光交流協会/子どもの遊び場*
整備イメージ	温浴複合施設(3,500㎡)を整備	温浴・飲食物販施設(2,500㎡)およびコストを抑えた建物による交流施設(200㎡)を整備 ※子どもの遊び場は、既存施設の一部を改修して設置することを想定	温浴施設(2,000㎡)およびコストを抑えた建物による飲食物販・交流施設(700㎡)を整備 ※子どもの遊び場は、既存施設の一部を改修して設置することを想定	既存の温浴施設を改修し高齢者と一般客が常時利用できるようにするほか、コストを抑えた建物による飲食物販・交流施設(700㎡)を整備 ※子どもの遊び場は、既存施設の一部を改修して設置することを想定
イメージ図				

7. 今後のスケジュール

今後、整備方針を精査したうえで、官民連携手法による事業者公募を行い、設計、工事を進めていきます。

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
●整備方針精査				
	●公募資料作成			
	●事業者選定			
		●基本・実施設計		
			●建築工事等	

パブリックコメント実施

計画の詳細は、村公式ホームページをご覧ください。



村公式ホームページ

●問合せ先 開発部整備推進課